

Title	飯田裕康教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Professor Hiroyaku Iida
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2002
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.94, No.4 (2002. 1) ,p.813(249)- 819(255)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20020101-0249

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

飯田 裕康教授 略歴・著作目録

*2002年3月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を定年退職するのにもない、
本学会を退会する会員の略歴・著作目録
を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

飯田 裕康教授 略歴・著作目録

2002年1月24日現在

1. 略歴

- 1937年1月 東京都に生まれる
- 1955年4月 慶應義塾中等部，同高等学校を経て，慶應義塾大学経済学部入学
- 1959年3月 同学部卒業
- 1959年4月 慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1961年3月 同課程修了 経済学修士
- 1961年4月 慶應義塾大学経済学部副手
慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程入学
- 1962年4月 慶應義塾大学経済学部助手
- 1964年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程修了
- 1967年4月 慶應義塾大学経済学部助教授
- 1971年2月 ドイツ連邦共和国テュービンゲン大学経済学部社会経済史教室客員研究員
ドイツ金融史研究に従事（1973年3月まで）
- 1971年9月 経済学博士
- 1974年4月 慶應義塾大学経済学部教授 経済学研究科委員を兼ねる
- 1982年9月 ソ連科学アカデミー東洋学研究所客員研究員 ソ連共産党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所にてマルクス『資本論』草稿の調査に従事（10月まで）
- 1991年10月 ケンブリッジ大学 ダウニングコレッジ客員フェローとして「リカードゥ文書」の調査に従事（12月まで）
- 1993年5月 経済学部長 経済学研究科委員長，学校法人慶應義塾理事を兼ねる（1999年9月まで）
- 1999年10月 塾派遣留学により大英図書館写本室・貴重書室にてリカードゥ関連文書・文献の調査に従事（2000年3月まで）
- 2000年4月 慶應義塾大学メディアネット所長 慶應義塾図書館長を兼ねる（2001年9月まで）

2. 所属学会

- 経済学史学会 （幹事を2期歴任）
- 日本金融学会 （理事を4期歴任）

信用理論研究学会（常任理事 現在に至る）

証券経済学会（幹事を2期歴任）

日本ドイツ学会

Gesellschaft für Sozial- und Wirtschaftsgeschichte

3. 主要業績

A. 著書・編著書・翻訳

『信用論と擬制資本』有斐閣 1971

『貨幣・信用論』同文館 1977

『ヒルファディング金融資本論入門』（高山満，鈴木芳徳，野田弘英との共著）有斐閣 1977

『経済原論』（常盤政治，井村喜代子，北原勇との共著）有斐閣 1980

『貨幣と信用の理論』三嶺書房 1985

『現代の金融 理論と実状』（編著）有斐閣 1992

『現代信用論の基本課題』（編著）有斐閣 1994

『現代の金融危機』（編著）慶應義塾大学出版会 2000

『小田実の世直し大学』（高草木光一との共編）筑摩書房 2001

J.クラバム著，英国金融史研究会訳『イングランド銀行 その歴史 I，II』ダイヤモンド社 1970（Iの第3章，IIの第8章）

Hermann Delorme and Hans-Joachim Hoessrich 著「コンソーシウム業務と発行業務」（共訳）『証券研究』46，1975.

Franz Steffan 著「抵当債券と自治体債券」（共訳）『証券研究』62，1980.

Wolfgang Goedecke and Volkher Kerl 著「抵当銀行」（共訳）『証券研究』62，1980.

エルネスト・マンデル著『後期資本主義』（全3巻，的場昭弘，山本啓と共訳）柘植書房 1980—82.

Michael Gerhards 著，相沢幸悦訳『西ドイツの産業資本と銀行』（監修）亜紀書房，1985.

B. 論文，書評，他

「信用形態にかんする覚え書——利子生み資本の一論点——」『三田学会雑誌』54(5)，1961.

「擬制資本の論理——資本の商品化過程——」『三田学会雑誌』55(4)，1962.

「『信用制度』と『株式会社』——マルクスの場合——」『三田学会雑誌』56(4)，1963.

「国家独占資本主義論と投資金融問題」『土地制度史学』18，1963.

「ヒルファディング株式会社論にかんする一考察——とくに信用論との関連において——」『三田学会雑誌』57(1)，1964.

「信用形態の展開と「利子生み資本」の前期的性格——『資本論』第3部第5篇の一論点——」『三田学会

- 雑誌』57(6), 1964。
- 「共同体への道——一つの現状認識——」『三田評論』630, 1964。
- 「マルクス信用論の展開過程——信用論研究序説——」『経済学年報』（慶応義塾経済学会）8（1964年度），1965。
- 「『資本一般』の体系と「競争」論——『資本論』における信用論展開の前提——」『三田学会雑誌』58(5), 1965。
- 「再生産過程の展開と貨幣資本の蓄積——信用恐慌論研究序説——」『土地制度史学』32, 1966。
- 「独占分析と信用形態——「古典的規定」の再検討——」『経済評論』15(14), 1966。
- 「信用と恐慌との連繫について——一つの覚え書——」『三田学会雑誌』60(9), 1967。
- 「擬制資本について（上）——信用論の基本問題との関連において——」『三田学会雑誌』60(5), 1967。
- 「『擬制資本』論の基本構成」『証券経済学会年報』創刊号, 1968。
- 「ヒルファディング経済学における理論と歴史——『金融資本論』の学説史的評価をめぐって——」『三田学会雑誌』62(7), 1969。
- 「信用論における証券市場の基本問題」『金融経済』116, 1969。
- 「信用制度と株式会社——信用論における「株式会社」——」『三田学会雑誌』62(5), 1969。
- 「株式会社論をめぐって——信用論の立場から——」『土地制度史学』48, 1970。
- 「株式会社における所有と機能」『三田学会雑誌』63(1), 1970。
- 「信用制度展開の論理構造——信用論体系理解の予備的考察——」『金融経済』126, 1971。
- ‘Hilferdings Finanzkapital und Kredittheorie,’ *Keio Econ. Stud.*, 8 (2), 1971.
- 「資本集中と信用体系」『金融経済』142, 1973。
- 「『金融資本論』における信用論——ヒルファディングの帝国主義把握との関連において——」『三田学会雑誌』67(9), 1974。
- 「金融史と証券市場」『三田評論』740, 1974。
- 「下平尾勲著『貨幣と信用』」『商学論集』（福島大学経済学会）43(3), 1975。
- 「入江節次郎著『帝国主義論への道』」『三田学会雑誌』68(4), 1975。
- 「『信用の基本規定』をめぐって——一つの覚え書——」『三田学会雑誌』68(11・12) 1975。
- 「証券市場と資本所有——証券市場基礎理論への一視角——」『三田学会雑誌』69(4) 1976。
- 「スミスにおける信用の把握について——信用論的考察——」『三田学会雑誌』69(6)（『国富論』刊行200年記念特集号），1976。
- 「酒井一夫著『インフレーションと管理通貨制』」『三田学会雑誌』70(4), 1977。
- 「ヒルファディングにおける貨幣と信用——『金融資本論』分析・序論——」『三田学会雑誌』70(6), 1977。
- 「信用の必然性——方法論的一考察——」川合一郎編『現代信用論』（有斐閣）上, 1978。

- 「手稿「バスティアとケアリ」について——1850年代マルクスの古典派批判への一視角——」『三田学会雑誌』71(5) (遊部久蔵教授追悼特集号), 1978.
- 「ヒルファディングにおける貨幣と信用——『金融資本論』分析・序論—2——」『三田学会雑誌』72(2), 1979.
- 「大内力著『信用と銀行資本』」『三田学会雑誌』72(3), 1979.
- 「Ben Fine and Laurence Harris, *Rereading Capital*, 1979」『三田学会雑誌』73(2), 1980.
- 「帝国主義論研究の現状——カウツキーおよびヒルファディング研究を中心に——」『経済学史学会年報』18, 1980. (相田慎一との共同論文)
- 「貨幣資本蓄積論の構成」『金融経済』189, 1981.
- 「森岡孝二『独占資本主義の解明——予備的研究——』」『経済研究』(一橋大学経済研究所) 32(4), 1981.
- 「A.スミスにおける資本蓄積と信用——貨幣蓄蔵・貨幣資本 *monied capital* の形成をめぐる——」『三田学会雑誌』75 (高橋誠一郎名誉教授追悼特集号), 1983.
- 「『資本論』第3部第5篇—上—その成立と現代 (カール・マルクス没後100年<特集>)」『三田学会雑誌』76(3), 1983.
- 「『資本論』第3部第5篇—下—その成立と現代」『三田学会雑誌』76(6), 1984.
- 「信用論史におけるマルクス——流通論批判と信用論——」『三田学会雑誌』79(2), 1986.
- 「現代金融問題の基底——金融の「自由化」・「証券化」の論理 (特集・金融肥大化と資本主義経済)」『経済』281, 1987.
- 「ヒルファディング金融資本理論の一側面——銀行と証券市場の一体化の論理構造——」『三田学会雑誌』80(5), 1987.
- 「Rice Vaughan, *A Discourse of Coin and Coinage*, 1675」『三田評論』890, 1988.
- 「桜井毅『イギリス古典経済学の方法と課題』」『三田学会雑誌』82(1), 1989.
- 「銀行と証券——銀行信用と金融市場——」『金融学会報告』67, 1989. (田中秀親との共同論文)
- 「『ドイツ大インフレーション』渡辺武」『季刊科学と思想』76, 1990.
- 「高須賀義博編『シンポジウム<資本論>成立史——佐藤金三郎氏を囲んで——』」『三田学会雑誌』83(2), 1990.
- 「スミス『国富論』最初のドイツ語版」『三田評論』916, 1990.
- 「スミスにおける貨幣・利子・公債——貨幣的経済の古典的・批判的認識—— (アダム・スミス没後200年<特集>)」『三田学会雑誌』83(4), 1991.
- 「リカードウの一書簡 (慶應義塾図書館所蔵) をめぐって」『三田学会雑誌』85(1), 1992.
- 「リカードウの知的世界と経済学——リカードウの一未公開書簡をめぐる——」『経済学史学会年報』30, 1992.
- 「リカードウの未公開書簡」『三田評論』936, 1992.

- 「金融構造の国際的連繋——わが国金融市場の国際化と関連して——（コンファレンス「20世紀末の資本主義」〈特集〉）」『三田学会雑誌』87(2), 1994。
- 飯田裕康, 清水雅彦, 杉山伸也 他「座談会 経済学——何を学ぶのか——」『三田学会雑誌』88(4), 1996。
- 「現代の金融危機をどうみるか（特集 現代と経済学の課題）」『経済』8, 1996。
- 「小池基之先生追想」『三田評論』977, 1996。
- 小谷津孝明, 飯田裕康, 大山道広, 松村高夫「座談会 慶應義塾大学大学院経済学研究科の改革」『三田評論』988, 1997。
- 「古典経済学と political economy の普及・一般化——“the New Political Economy”をめぐって——」『経済学史学会年報』35, 1997。
- 「擬制資本理論の古典と現代」『東京経学会誌』（東京経済大学）207, 1998。
- 「市民的共生の政治経済学（特集 共生社会の経済システム）」『都市問題』89(9), 1998。
- 「アダム・スミス書簡「スタナップ卿宛」」『三田評論』1004, 1998。
- 「坂本正『金融革新の源流』」『三田学会雑誌』92(4), 2000。
- 「講演録 高橋誠一郎と慶應リベラリズムの伝統——福沢諭吉没後百年記念「慶應義塾の経済学」展によせて——」『三田評論』1034, 2001。